

様式第4号（要綱第3条関係）

令和5年 8月17日

田村市議会議長 大橋 幹一 様

会派名 改革未来たむら

代表者名（議員名） 佐藤 重実

印

政務活動報告書

区分（○で囲む）	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 会議 / <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動
期間	令和5年7月27日(木) ~ 令和5年7月28日(金)
参加者氏名	佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重
訪問先の応対者 〔名刺の写し添付〕	別紙名刺の写し添付
場所 〔調査、研修、訪問先 要請・陳情場所等〕	1. 山形県山形市七日町 「山形まちづくり株式会社」 2. 山形県西置賜郡飯豊町 「ながめやま バイオガス発電所」
行程 (別紙添付も可)	別紙行程表添付
内容・成果等	別紙政務調査報告書添付



政務調査行程表

1. 政務調査議員 改革未だむら 3名 無会派 1名
2. 政務調査地 山形県山形市 「山形まちづくり株式会社」
山形県飯豊町 「ながめやまバイオガス発電所」
3. 政務調査日程 令和5年7月27日(木)～7月28日(金) 1泊2日

【行程】

1日目 7月27日(木)

- 船引町 ⇒ 肇越道 ⇒ 東北道 ⇒ 山形道 ⇒ 山形市「山形まちづくり株式会社」 ⇒ 駅
9:00発 レンタカー 13:00～14:30 (昼食)道の駅 とざわ 高麗館
18:00着
宿泊
鶴岡市:たちばなや
最上郡戸沢村大字戸沢30008-1
0233-72-3303
山形市鶴岡市湯温泉丁3
(TEL:0235-43-2211)
- 2日目 7月28日(金)
- 鶴岡市:たちばなや ⇒ ⇒ (昼食)道の駅いいでめざみの里観光物産館 ⇒ 飯豊町「ながめやまバイオガス発電所」
8:00発 道の駅 川のみなど長井
長井市東町2-50
0238-87-1121
12:00～13:00
13:30～14:30
⇒ 山形道 ⇒ 東北道 ⇒ 肇越道 ⇒ 船引町
18:30着

田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告
政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重

政務調査日 令和5年7月27日(木)13:00~14:30

政務調査先 山形まちづくり株式会社

政務調査目的 本市も人口減少に伴い商店街の活力低下や空き家バンクによる移住定住支援や人口減少の抑制に取り組んでいるが、若年層の大幅な転出超過や市内産業の若手の担い手不足の問題が商店街の弱体化に波及。
個人事業主の廃業に伴い商店街の遊休不動産が増え、俗に言うシャッターリングが増えつつある。
今後どのように遊休不動産再生事業や空き店舗・空き地スペースという物理的な「スキマ」を利活用出来るかが大きなポイントになる。
「まちづくり」の新たなエンジンとして、公費に依存せず自主財源を確保し、資金の地域内債投資の実績ある民間会社との懇談・意見交換の実施。

山形まちづくり
株式会社

概要 ○設立:平成27年(2015年)1月
○資本金:500万円(商店街出資の100%民間まちづくり会社)
※自治体からの指定管理や委託契約なしでも黒字決算を継続。
○役員数:6名(取締役4名、監査役2名)
※役員は、株主企業や関係団体等からの充て職を起用しない方針。

○職員数:2名(パート含む)

説明者 常務取締役 下田 孝志 (内閣府任命地域活性化伝道師)

調査実施報告 【遊休不動産の解消】

1. 新たな事業主体の必要性の取り組み実施。
2. 遊休不動産再生事業では空き家物件情報の現状調査や不動産所有者の意向把握を進め、将来的な利活用策の相談・検討。
3. 地元2大学(山形大学・東北芸術工科大学)と七日町の空き店舗・空き地再生プロジェクトで連携。
4. 起業セミナーはリノベーションと題して、定数枠を設けて有料制で実施。
5. 商店経営に意欲的な人材を発掘し、育成・支援により新規創業に繋げる仕組み。
6. 空き物件を所有する不動産オーナーや各種専門家とのマッチングの場を提供。

【まちづくりの推進】

1. 築80年の木造3階建ての土地建物を取得し、耐震補強して賃貸物件化した結果、30代若手オーナーが独立企業し飲食店を開業。
2. 築70年の建物(1階部分)をリノベーションし、40代女性オーナーが起業して雑貨屋として開業。
3. 交流拠点施設の1階テナント部分を賃貸借契約を結んで、30代の地元若手デザイナーへサブリースしセレクトショップとして開業。
4. 築50年以上の木造2階建を定期借地5年程度の実証実験事業として、地元大学と連携した活用事業に取り組む。

まとめ 山形まちづくり株式会社の所在地が山形城の城下町で、この地は、「七のつく日」に「市日」が立ったことから、町名制定の際に「七日町」となったと聞きました。山形城はいろんな大名が城主になり、主に鳥居氏・堀田氏と徳川家の有力大名の居城であったため「商人町」として飛躍的に整備されました。隣接する政令指定都市・仙台市の中心部まで車で約1時間でバスは朝6時から夜10:30迄、数十分おきに運行しており人の往来があり交流人口が盛んです。エリア毎の活性化(七日町中心)地元大学生と一緒に遊休不動産再生事業に取り組んでおり活力が半端ないと感じました。地元市会議員と懇談し、小さな駐車場(5台)は市内では許可を出さない条例実現・レンタル自転車の利用が多く、各駐輪場から駅駐輪場までの利用は自転車業者と一体になり共同管理経営の理想的な運営になっている。店舗の誘致では、売上金額ではなく、どれだけ新規出店が増えたかが重要。良い店舗を作る、1件/年に力を入れ家賃補助はダメだと明言されました。老朽化により病院の建て替え時期が迫っているとの事でまちづくりの起爆剤にとの事でチャンス。本市も条件は良くないですが、空き家・空き店舗が解体されてない状況で、まだ遊休不動産再生事業はチャンスがあると思います。

	田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告 政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重
政務調査日	令和5年7月28日(金)13:30~15:00
政務調査先	ながめやま バイオガス発電所
政務調査目的	本市は畜産業が盛んで、牛畜舎の排せつ物からバイオガス発電による地産地消電力発電やたい肥・液肥を農地に還元する循環型農業の取り組みが必要。 本市は繁殖牛肥育が盛んで、国は2006年家畜排せつ物法の制定により牛ふん尿臭気の問題解決や発電後のたい肥・液肥の利活用の現状調査。
ながめやま	山形県飯豊町大字添川字袋谷3664-1
バイオガス発電	<p>概 要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○竣工:2020年7月 ○事業者:東北おひさま発電(株) ○事業面積:0.89ha ○バイオマス原料の種類:家畜排せつ物(肉牛約90%乳牛約10%) 及び動植物性残渣物(糞子クズ、糖蜜など) ○バイオマス原料の調達量:約16,800t/年 ○発電規模:500kw ○売電量:約3,600,000kwh/年
説明者	東北おひさま発電株式 代表取締役社長 後藤 博信
調査実施報告	<p>【山形県エネルギー戦略 ~エネルギー政策基本構想~】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再生可能エネルギーの共有基地化。 2. 分散型エネルギー資源の開発と普及。 3. グリーンイノベーション(再生可能エネルギーの導入拡大等を通じた産業振興)の実現。 <p>【自然と共生する循環型会社の取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 飯豊町は日本三大黒毛和牛「米沢牛」の4割を占める。 2. 飯豊町は2018年6月には「SDGs未来都市」にも選定された。 3. 家畜排せつ物等を利用したバイオガス発電を畜産振興や自給エネルギーとしての取り組み。 4. バイオガス発電は畜産農家や牧場経営関係者の理解が不可欠で効率を考えると牛畜舎の改良が必要。 5. 「房」での群飼いからつなぎ飼いと排せつ物の自動収集・廃棄化の実現。 6. 牛ふんの購入価格は100円/t。 7. 牛ふんの含水率で98%/乳牛で94~96%/肥育牛は低いので乳牛と肥育牛の牛ふんの割合が発酵完熟のポイント。 8. 発電後に生じる「バイオマス液肥」の利活用については、大量に発生したため牧草地以外で使用出来ないか農業高等学校と協力して稻作での実験中。

まとめ 東北おひさまの後藤社長は以前は飯豊町副町長でもあり、バイオガス発電が出来るまでの苦労話や、特に畜産農家や牧場経営の理解が得られず、何度も説得した苦労がわかりました。農家の人は手ごわい。

2017年10月、飯豊町は、関係7不府省(内閣府・文部科学省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省)が共同で推進している「バイオマス産業都市」に認定。本市ものこのような認定都市のお墨付きが必要と考えます。

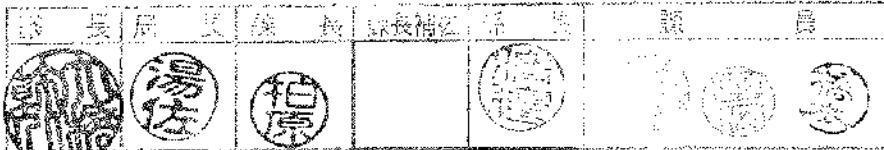
民間企業も注目しており、食品ロス解消でも動植物性残渣物の処理依頼も来ており、社会貢献度が高まっている。

当初は畜産関係者と対立状態だったが、今では特産経営の家畜排せつ物処理負担を軽減し環境汚染防止の取り組みに寄与している。

「バイオマス液肥」の取り組みでは他県の企業や農業高等学校との水田や野菜畑に利活用の実験により循環型農業の最先端の活動が素晴らしい。

また、農業用水路を利活用したマイクロ水力発電にも取り組み自然エネルギーバイオニアの飯豊町です。

本市も木質バイオマス発電所はありますが、自然エネルギーの更なる開発・企業誘致が必要、また情熱のあるリーダーシップの人材育成も不可欠と考えます。



様式第4号（要綱第3条関係）

令和5年 10月2日

田村市議会議長 大橋 幹一 様

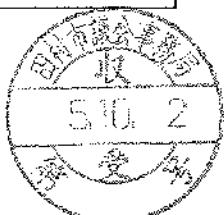
会派名 改革未来たむら

代表者名（議員名） 佐藤 重実



政務活動報告書

区分（○で囲む）	調査研究 研修 広報 広聴 会議 / 要請・陳情活動
期間	令和5年9月28日(木)～令和5年9月29日(金)
参加者氏名	佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重
訪問先の応対者 〔名刺の写し添付〕	別紙名刺の写し添付
場所 〔調査、研修、訪問先 要請・陳情場所等〕	1. 秋田県大館市中城 「大館市役所」 2. 秋田県大館市鉄砲場 「株式会社 TOMUSHI」
行程 〔別紙添付も可〕	別紙行程表添付
内容・成果等	別紙政務調査報告書添付



行程表

改革未来たむら

観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社豊崎観光
郡山エリアセンター
〒963-8824
福島県郡山市朝日二丁目14番7号

TEL:024-883-8380 FAX:024-883-8378
Email:
〔一社〕日本旅行業協会会員
総合旅行業務取扱管理者 小原 健志
担当者:草野 秀一

コース名: 大館市役所・株式会社TOMUSHI視察

旅行先: 北東北 行き: 4名 (大入:4名)

旅行日: 9月28日(木)~9月29日(金) 人数: 1泊2日

白次日	行程	会場
	JR新幹線やまびこ51号 郡山駅 07:24発 → 仙台駅 07:58着/08:05発 → 新青森駅 09:49着/10:45発 JR新幹線はやぶさ1号 JR奥羽本線	
1 9/28 (木)	視察 大館駅 12:09着/12:30発 → 大館市役所 14:00着/15:30発 → ルートイン大館大町 15:35着 【宿泊】ルートイン大館大町 TEL: 0186-43-6681 秋田県大館市大町9 1-1	
2 9/29 (金)	視察 ホテル 09:20発 → 株式会社TOMUSHI 09:30着/11:00発 → 秋田犬会館 11:05着/11:40発 → 道の駅 ひない 12:00着/12:50発 JR特急つがる3号 大館駅 13:10着/14:09発 → 新青森駅 15:14着/15:52発 → 仙台駅 17:29着/17:43発 JR新幹線やまびこ154号 郡山駅 18:29着	朝

記入例	バス → その他バス → 車 → 船 → 私鉄 → 鉄道 → 航空 → 自転車 → 徒歩
	ケーブルカー → モノレール → ロープウェイ → タクシー → マイカーレンタカー
メモ	

田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告

政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重

政務調査日 令和5年9月28日(木)14:00~15:15

政務調査先 大館市総務部企画調整課ふるさと納税推進室

政務調査目的 本市も財源が確保が厳しい中、全国の自治体も財源確保のため競ってふるさと納税アップに力をいれております。

本市の令和5年度予算、ふるさと納税額は1.7億円と高いハードルを掲げております。特に米は東北の自治体のふるさと納税返礼品の上位を占めており他の自治体に対抗できる新たな返礼品アイテム商品の開発が必要と考えます。この度は昨年度、約10億円のふるさと納税があった、大館市の取り組み視察して、本市のふるさと納税額の倍増につながる仕組みや仕掛けを探るべく政務調査の実施。

(大館市役所 秋田県大館市中城20

概要 ○秋田県北部に位置する市。市の北境で青森県と接している。

※1951年市制施行。

○人口68,782人(令和4年30日時点)

○四方を山に囲まれた盆地で、その中央を秋田三大川である米代川が貫いて、有数の米所。田園風景が広がる景色は、大館の魅力。

○秋田犬や比内地鶏が有名。

説明者 大館市総務部ふるさと納税推進室 主査 藤島 貴徳

係長 高橋 奈央子

調査実施報告 【ふるさと納税:大館市の現状】

1. 平成30年度786,051千円から毎年度アップしており令和4年度は978,231千円の実績で寄附件数も平成30年度は50,595件から令和4年度は54,377件と同様に伸びている。

2. 令和4年度の返礼品の人気は1位:お米・2位:大館曲げわっぱ・3位:きりたんぽ鍋セットの順で予想通りでした。お米の人気は根強い。

3. 令和4年度の寄附受け入れトップ3は東京都・神奈川県・大阪府で約50%を占めている。田村市とは返礼品のどれをとっても知名度が違う。

【ふるさと納税:大館市の取り組み】

1. 平成20年9月に「大館市ふるさと応援寄附」を開始

2. サイトの開設が攻する、平成25年6月「ふるさとチョイス」を開始・令和元年10月「楽天」開始・令和2年9月「大館市ふるさと納税特設サイト」・令和3年8月「さとふる」・9月「ふるなび」・令和4年6月「ANAのふるさと納税」

3. 更に今年度も7月に「旅先納税」・8月に「JALふるさと納税」、「JRE MALLふるさと納税」の開始。積極的に開設している。

4. 平成25年7月に大館商工会議所に特産品配送を業務委託・令和5年4月中旬管理事業者「カメイ(株)」追加運営。

5. 令和2年10月に大館市ふるさと納税事業社会を設立。

まとめ 大館市は秋田県の米どころでもあり、秋田犬の「マサル」がロシアのザギトワさんへ、また「ゆめ」がプーチン大統領へ贈呈されたニュースは有名です。
比内町の比内地鶏を使用した「きりたんぽ」は誰もが知るところでブランド返礼品で都市圏の需要が多い。(日本の三大食鶏)
大館市ふるさと納税事業社会は約70事業者の横の連携を取り新たな返礼品の開発やPR方法の創出のため、年数回の事業社会を実施(勉強会やセミナー)により、毎年度ふるさと納税が伸びていると感じました。
人気のお米の確保が難しい、農家は主に米倉庫を持っている業者やJAへ貢取を契約をしているので、田村市と同様の問題を抱えていることが分かった。
どのような解決方法があるか、速急に対策を取るべきと考えます。
返礼品の農家直送あきたこまちのネーミングが素晴らしい。そのネーミングが「あいがも米」でこのような戦略が非常な大切と考えます。
また、冷凍とろろ2kgセットは小出しが出来る、50g×40袋でアイデア商品でプレミアム商品の「白神生ハム」はマスコミ報道があり品切れで供給の体制構築も課題として挙げられており、まだまだ伸びしろがあると感じました。
ふるさと納税推進室の高橋係長の説明にも、今後はふるさと納税単価を上げるために活動をする意気込みが見てて頼もしいと感じました。
今後注目される返礼品は「体験型返礼品」だと共通認識が出来てよかったです。

	田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告 政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重
政務調査日	令和5年9月29日(金)9:30~10:30
政務調査先	株式会社 TOMUSHI
政務調査目的	本市は昆虫の聖地宣言・昆虫課を設置し全国に発信をして、昆虫に特化した観光・イベント・昆虫ビジネスを開拓している、更に昆虫ビジネスで躍進している企業との関係を構築し、ふるさと納税のアイテム商品開発をしたい。 SDGs未来都市構想としてカブトムシを利用した循環型農業の取り組み。
株式会社 TOMUSHI	秋田県大館市鉄砲場81-3(自宅兼事務所)
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ○設立:2019年 ○資本金:500万円 ○役員:代表取締役CEO 石田陽祐 代表取締役COO 石田健祐 ○国内工場:30ヶ所以上 ○廃棄物処理量:1,200t/年 ○SDGsイベント:14箇所以上
説明者	株式会社 TOMUSHI 代表取締役COO 石田 健佑
調査実施報告	<p>【株式会社 TOMUSHI 事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 民間・自治体・海外政府向けにプラント販売。 2. 廃棄物処理用の種と廃棄物に資料用有効微生物の販売。 3. 幼虫が廃棄物を処理して出た粪を有機肥料・堆肥として活用。 4. 昆虫を原料とした飼料・漢方薬、医療品の開発。 <p>【株式会社 TOMUSHI ~SDGs政策基本構想~】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2030年タンパク質危機での昆虫食の開発。 2. カブトムシは70.7g/100gとタンパク質量の占める割合が多い。 他と比較したタンパク質量:鶏は23.3g/100g・豚は22.1g/100g・牛は21.2g/100gとかぶトムシは断トツが多い。 3. 昆虫食として、カブトムシの幼虫・コオロギ(実用化)・ミールワームの飼育。 4. きのこを収穫し終えた廃菌床と生ゴミをカブトムシの幼虫に食べさせる。 有機肥料として販売。 5. カブトムシの養殖で昆虫(成虫)の販売や昆虫グッズの開発と雇用創出。 6. タンパク質量の高いカブトムシの幼虫で魚養殖の専用飼料販売。 飼の餌としては実用化可能。※量産コスト・持続可能供給が課題。 7. 農業界で困っている、排出物(粪・尿)処理でも、廃菌床を割合を決めてブレンドし幼虫の餌として処理し有機肥料・堆肥として販売。

まとめ 株式会社TOMUSHIさんは、クワガタサミット等で本市と繋がりがあり、昆虫(カブトムシの幼虫)の力でゴミを資源化し、世界の資源不足を解消するとしている昆虫ビジネスとして立ちあがいでいる企業で魅力があります。

経営的には、ビジネスのアイデアを出して商社的な企業、または株式会社TOMUSHIとしてロイヤリティを地域の起業者へ売っていると考えます。

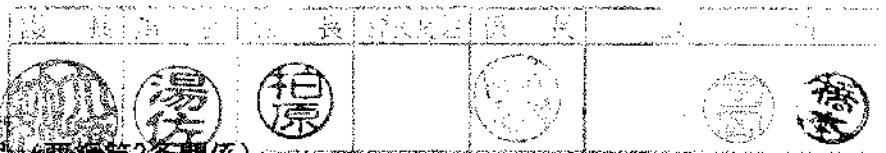
本市も廃校の利活用が出来れば、地域おこし協力隊で起業される方がいれば、ビジネスチャンスと考えます。

この昆虫ビジネスは食品ロス(生ごみ)の問題で上場企業からも問い合わせがあり、自治体困っている給食の残飯処理の考え方か変わると思います。

昨今、国も有機農業を推奨しており、2050年には目標値が掲げられおり、これから有機肥料としてオーガニックビジネス手助けとなります。

また、農林水産・食の部でカブトムシのパワーで、廃棄物を肥料や飼料に活動で「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」の第3回受賞が9月30日に決定し、株式会社TOMUSHIが受賞しました。(受賞賞金は300万円)

本市も昆虫の聖地を宣言しており、昆虫に特化した勢いがある企業と密接な連携を取って、昆虫ビジネスに力をいれる必要があります。



様式第4号(要請第3条関係)

令和5年 11月20日

田村市議會議長 大橋 幹一 様

会派名 改革未来たむら

代表者名(議員名) 佐藤 重実



政務活動報告書

区分(○で囲む)	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 会議 / <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動
期間	令和5年11月10日(金) ~ 令和5年11月11日(土)
参加者氏名	佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重
訪問先の応対者 〔名刺の写し添付〕	別紙名刺の写し添付
場所 〔調査、研修、訪問先 要請・陳情場所等〕	1. 千葉県南房総市富浦町青木28 「南房総市役所」 2. 千葉県安房郡鋸南町保田724 「道の駅保田小学校」
行程 (別紙添付も可)	別紙行程表添付
内容・成果等	別紙政務調査報告書添付



行 程 表

改革未来たむら

コース名：千葉県視察研修

旅行者：甲・乙・丙

旅行日：11月10日(金)～11月11日(土)

休憩

新光行長者会員旅行英語619号

株式会社最盛観光

郡山エリアセンター

〒662-8024

福島県郡山市相田二丁目14番7号

TEL: 024-963-0389 FAX: 024-963-0378

E-mail:

(一社)日本旅行業協会会員

独立旅行業界取扱管理者 小原 勝志

担当者: 佐野 力一

日次月日		休憩		休憩	
		船引町	—	田村SIC	—
		07:30着		中津SA 上り	—
		08:55着/09:10発		守谷SA 上り	—
		10:40着/10:55発			
		研修			
		道の駅たるPA 下り	—	高見IC	—
		12:00着/12:00発		南宮崎市役所	—
		14:00着/15:00発			
1	11/10 (金)	三日月シーパークホテル安房鴨川			
		16:10着			
		【宿泊】三日月シーパークホテル安房鴨川 TEL: 04-7665-3111 千葉県鴨川市内浦278-1 小浜海岸			
2	11/11 (土)	研修			
		ホテル	—	道の駅 保田小学校	—
		09:00着		10:30着/11:00発	—
		11:15着/12:15発			
		休憩 林間			
		—	—	守谷SA 下り	—
		13:55着/14:05発		中津SA 下り	—
		15:35着/15:50発		田村SIC	—
		17:20着		船引町	

記入欄	バス <input type="checkbox"/> その他のバス <input type="checkbox"/> バイク <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 駆け <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 駆け <input type="checkbox"/> 駆け <input type="checkbox"/>
	ケーブルカー <input type="checkbox"/> モノレール <input checked="" type="checkbox"/> ロープウェイ <input type="checkbox"/> ラクシ <input type="checkbox"/> マイカー/レンタカー <input type="checkbox"/>
支拂	

記入欄・支拂等により運賃時間が変更となる場合があります。

登録番号: 3310040205-1

作成日: 2022/10/4

1 / 1 ページ

田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告

政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重

政務調査日 令和5年11月10日(金)14:00~15:05

政務調査先 南房総市 農林水産部 農林水産課

少
政務調査目的 本市も中産地では有害鳥獣被害が多く発生しており、農業を営む上で大きな課題となっている。特に耕作放棄地が増加傾向にあり、また農業者の高齢化が進み森林の管理が出来ず、イノシシが出没する環境が増えています。その対応策として電柵の設置等をしている。今後の問題として獣友会の高齢化で扱い手不足が懸念されます。
有害鳥獣被害は森林の面積が多い自治体ほど多く永遠のテーマである。
南房総市の多岐にわたる有害鳥獣被害が発生し対応している自治体として今後の対応について政務調査の実施。

南房総市役所 千葉県南房総市富浦町青木28

概要 ○千葉県南部に位置する市。関東地方および千葉県最南端。

※2006年、7町村の合併により発足。

○人口33,640人(令和5年10月01日時点)

○南房総観光圏の観光都市。

○市域は森林セラピー基地、海岸部は南房総国定公園に指定。

○市キャッチフレーズ:ひと・ゆめ・みらい地域で創る魅力の郷 南房総。

説明者 南房総市農林水産部農林水課 部長 小野 恵二

係長 宇山 憲一 神作 啓介

調査実施報告 【有害鳥獣:被害状況と現状】

1. 市内に生息している有害鳥獣の種類が多く、在来種・外来種・鳥類の三つに分かれている。在来種ではイノシシ・ニホンザル・ニホンジカが多い、外来種ではアライグマ・アカゲザルやキヨンと聞きなれない動物もある。
2. 特にアカゲザル・キヨンは動物園にしかいないと思っていたが、キヤンについては動物園から脱走した数頭から繁殖が進み現在の頭数になっている。
3. 農作物被害の状況はH28:36,339千円からR4:13,488千円と減少傾向にある。その背景には捕獲駆除を実施しているのと離農の増加もあり皮肉な現象になっている。
4. 獣友会の捕獲従事者はH28:350名からR4:382名と増えてる状況、特に狩猟が目的ではなく有害鳥獣駆除が目的で農作物被害対策で増えている。

【有害鳥獣:捕獲対応と今後の対応】

1. 特にイノシシの捕獲が多く、R2:6,196頭・R3:4,098頭・R4:2,427頭の実績である。捕獲報奨金制度を活用して、イノシシ成獣:~16,000円・サル(生体捕獲):~22,000円など報奨金を出している。
2. 捕獲従事者の年齢の年代は70代が123名・60代が100名と多い。また、狩猟免許取得補助金も設け、初心者狩猟講習会受講料・狩猟免許試験申請費用の10分の10以内の補助の実施。

まとめ　南房総市の面積は229.55平方キロメートルで本市の半分の面積であるが、有害鳥獣捕獲数が遥かに多く、捕獲に対する予算確保が大変だと感じた。農作物の被害対策は、環境整備・防護・捕獲を同時にやっているが、毎年深刻な影響を及ぼしている。結果、営農意欲の減退や離農の増加・耕作放棄地の増加などにより鳥獣の生息地域拡大や農作物被害拡大に拍車をかける結果になっている。また、外来種のアライグマ・ハクビシン・アカゲザル・キョンなどの頭数も増えており、米・野菜・果実・花きの被害も多く発生している。アカゲザル・キョンはアフガニスタン・中国・台湾での原産地であるが、市内全域に生息して繁殖力が高いと聞いている。捕獲に使用するICT機器では、捕獲通知システムやセンサーカメラ等のハイテクノロジー製品を使用して捕獲従事者の作業時間の軽減をしている、このような施策は今後捕獲従事者の高齢化や担い手不足を考えれば、最も重要と考えます。動物特有の習性を利用した捕獲については、サル成獣を捕獲後に発信機を取り付、群れ事大型囮いわなで捕獲し殺処分(電気)をしている。南房総市も本市と同様に殺処分の個体は地下に埋めているとのことで、今度は焼却設備の検討中、埋める作業は重労働で衛生的にも良策だと思います。本来であれば、動物と人間は共存してきた過去を振り返れば、豊かな里山の恵みとしてのジビエなど、森林事業を含め里山再生事業が重要だと思います。

田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告

政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重

政務調査日 令和5年11月11日(土)10:00~11:15

政務調査先 道の駅 保田小学校

政務調査目的 本市も少子高齢化がますます進み、国も異次元の少子化対策を施策的に動いておりますが、出生率の低下が進み今後も出生率のアップは期待が出来ない状況です。少子化現象で、特に小学校の統合が進み廃校舎の利活用が地域活性化のため必要と考えます。

道の駅 千葉県安房郡鋸南町保田724

保田小学校

概要 ○設立:2015年12月

○名称:都市交流施設・道の駅保田小学校

○駅長:校長(駅長)大塚 克也

○附属ようちえんオープン:2023年10月

○園長:大塚 克也

説明者 道の駅保田小学校 大塚 克也

調査実施報告

【道の駅保田小学校 事業】

1. 町立保田小学校は、1888年(明治31年)に保田高等学校として設立、2014年(平成26年)の少子化による廃校を迎えた。126年続いた歴史ある学校でした。リノベーションを経て2015年(平成27年)12月、名前も校舎も残したまま、道の駅保田小学校として生まれ変わりました。

2. 廃校前のまま、黒板やロッカー、机と椅子がある教室での宿泊体験は特別な体験が好評で週末は予約が殺到している。

また、校舎の脇には入浴施設を完備している。

3. 每朝のラジオ体操、時間を知らせるチャイムの音や時折流れる勞歌、風になびく校旗、懐かしの給食で五感でノスタルジーを感じる道の駅です。

昭和のレトロな時間を体験できます。

4. 旧体育館をリノベーションした大きなマルシェも鋸南町でとれた新鮮な野菜や色とりどりのお花が並んでぎやかです。

5. 保田小学校オリジナルのお土産、昔懐かしの給食カレーや小学校気分を思い出す面白グッズが好評です。商品開発が素晴らしい。

6. 都会の方にうける、まちのコンシェルジュやまちの縁側、こどもひろばや里の原っぱなどアイデアに詰まった施設です。

7. 全国で1,200の道の駅は3割が赤字経営だが、道の駅保田小学校は地元採用の雇用で、経営も黒字で利益を町へ還元している。

8. 入場者は100万人/年を超えており、とくに家族連れが多いと聞きました。

まとめ 道の駅保田小学校は少子化により統合した廃校を利活用した都市交流施設で1年9か月で開校した「道の駅」です。建設にあたっては公開プロポーザルにより広く町民の意見を配慮したとの事です。町議会議員の方からも反対の意見があり、立ち上げ後の経営には大変苦労続きでしたが、地元採用の雇用も出来経営戦略により数年で黒字化が出来た。その経営戦略では学校の昔懐かしさを取り入れ特に家族連れで楽しめる、まちのコンシェルジュ・こどもひろば・まちの縁側・里の原っぱなどの親子で楽しめる場所や大人も自然に触れ合える憩いの場も飽きないスペースがいっぱいです。体育館を利用した「里山市場」きよなん楽市があり道の駅久保小学校のオリジナルのお土産や小学校気分を思い出す面白グッズが人気です。教室は学びの宿として宿泊が出来、新たに入浴施設を完備週末は予約困難との説明がありました。また、いろんな方やマスコミの取材があり広告宣伝費が掛からず多くの人に興味を持って頂いている。(芸能人も多い)人気の秘密は学校の懐かしさや、こども・おとなが共通して楽しめる施設の充実さや、首都圏よりの出入口のインターがあり交通の便利さがあると思います。本市も廃校の利活用のため、道の駅保田小学校のような廃校利用の検討が必要だと思います。道の駅保田小学校で実績を上げた大塚克也校長先生が来市して頂き、本市の廃校舎の利活用についてアドバイスをしてほしい。特に瀬川小学校は交通の利便性がよいので交流施設との利活用が考えられます。

様式第4号（要綱第3条関係）



田村市議會議長 大橋 幹一 様

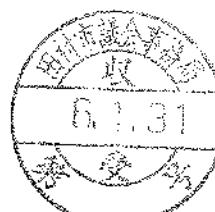
令和6年 1月 31 日

会派名 改革未来たむら
代表者名（議員名） 佐藤 重実



政務活動報告書

区分（○で囲む）	調査研究 研修 広報 広聴 会議 / 要請・陳情活動
期間	令和6年1月11日(木)～令和6年1月13日(土)
参加者氏名	佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重
訪問先の応対者 〔名刺の写し添付〕	別紙名刺の写し添付
場所 〔調査、研修、訪問先 要請・陳情場所等〕	<ol style="list-style-type: none"> 熊本県葦北郡芦北町天月1000 「道の駅 大野温泉」 熊本県球磨郡球磨村渡丙1730 「球磨村役場」 熊本県球磨村大字神瀬甲1130 「球磨村森林組合」
行程 〔別紙添付も可〕	別紙行程表添付
内容・成果等	別紙政務調査報告書添付



行 程 表

令和6年1月11日(木) ~ 1月13日(土) 2泊3日

日次月日	行 程		
1 1/11 (木)	船引町 →→→ 郡山駅 →→→ 東京駅 →→→ 博多駅 → 5:00 発 私有車 6:13 発 7:44 着/8:12 発 13:09 着/13:36 発 視察 →→ 熊本駅 →→→ 道の駅 大野温泉 →→→ 宿泊先(人吉市内) 14:14 着/14:40 発 16:10~16:50 17:30 着 ※レンタカーにて移動		
2 1/12 (金)	宿泊先 →→→ 球磨村役場 →→→ 球磨村森林組合 → 9:00 発 9:30~10:30 11:00~12:00 見学(昼食) 見学 →→ 球泉洞 →→→ 熊本城 →→→ 宿泊先(熊本駅前) 12:00~13:00 14:40~16:10 16:30 着	視察	視察
3 1/13 (土)	宿泊先 →→→ 熊本駅 →→→ 博多駅 →→→ 東京駅 → 徒歩 9:20 発 10:08 着/10:15 発 15:15 着/15:36 発 →→ 郡山駅 →→→ 船引町 16:56 着 私有車 18:00 着		

※2日目の球磨村森林組合の視察会場は、球泉洞の会議室となります。

田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告

政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重

政務調査日 令和6年1月11日(木)16:10~16:50

政務調査先 芦北町「道の駅 大野温泉」

政務調査目的 本市も道の駅を望んでいる市民が多くおり、どのような道の駅がよいか、どの場所が最適かこれから議論されると考えます。

2023年8月4日現在で1,209駅の登録があり、福島県は35駅あります。

近年、道の駅ブームが到来して、専門雑誌等でも特集され、有名な道の駅には県外からも訪れており、交流人口の増加に繋がっています。

今回の調査の中で、以前の田村市福祉センターと同様な施設で町民や県外からもオートキャンプの愛好者によって人気な温泉施設完備の道の駅です。

今後の道の駅整備対応について政務調査の実施。

道の駅大野温泉 熊本県葦北郡芦北町天月1000

- 概要
- 大野地域の活性化策として、平成13年4月7日に「大野温泉センター」としてオープン、その後、道の駅としての登録は平成24年3月26日
 - 整備のきっかけは、現町長の就任当初に設置された「芦北夢座」「100人委員会」(芦北町の活性化策を議論)組織・議論され、温泉整備の機運が高まった。
 - 総事業費は8億7,900万円(国県補助金5,300万円、基金1億6,700万円)
 - 「準備会」で協議(芦北町・設計会社・地元の老人会、行政区長等代表)
 - 当初の運営組織は「大野温泉管理組合」が、管理委託制度を適用して運営
 - 現在は道の駅登録を機にJAあしきたが指定管理者として運営。

説明者
芦北町役場:温泉観光センター兼湯浦出張所 所長 瀧山 敬三
道の駅 大野温泉(大野温泉センター) センター長 一丸 喜八郎

調査実施報告 【運営の現状と今後の対応】

1. 熊本県道27号芦北球磨線沿いにあるため、分かり易い温泉施設の道の駅。
2. 温泉道の駅のため、老人会やグランドゴルフ協会の利用が多い。
3. 利用者は、温泉+バイキング+グランドゴルフをセットとした利用があり、高齢者利用が9割、町外者利用が7割と利用者の特色がある。
4. 周りには葦北三十三観音巡りも出来る。
5. 経営状況は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、令和元年より利用客は激減、しかし令和3年を機に利用客が戻っており回復傾向にある。
また、総売り上げも同様に令和3年を機に回復傾向にある。
決算の状況は黒字・赤字が続いており休業助成金により令和2年度・令和4年度は黒字化しており、令和5年度も利用客が戻っており黒字の見通し。
6. 現在、人材不足により夜間運営の食事処・居酒屋は休業が続いている。
従業員の高齢化も進んでおり、雇用の確保が問題。
7. 今後の利用客アップの戦略として令和5年4月から農業体験や農作物のオーナー制を取り入れ町外からの利用客を増やしている。

まとめ 全国の道の駅数は1,209駅(令和5年8月4日現在)で、福島県は35道の駅があります。7割の道の駅は経営状況は良くないと言われております。

しかし、少子高齢化が急速に進み、人口減少が加速している昨今、道の駅の人気が高まり特集を組んでいる雑誌もあります。

田村市も道の駅建設の重要性は高いと考えます。

道の駅の役割は交流の場・観光の発信・地元の特産物の販売や交流人口の増加が見込めます。更に令和6年能登半島地震を考えても、防災道の駅機能を備えた道の駅があれば復興の観点から必要不可欠と考えます。

経営の観点から、場所が重要と考えます。儲かる道の駅を考えれば三春船引インター付近でサービスエリアと国道288号線と併用できる川口市の道の駅を思い浮かべる道の駅が理想と考えます。

運営はNEXCO東日本のノウハウ生かした運営がベストと考える。

多くの市民が望んでいる道の駅建設が重要です。

田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告

政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重

政務調査日 令和6年1月12日(金)9:30~10:30

政務調査先 球磨村役場 観光事業

政務調査目的 本市の土地利用区分をみると、全体の約67%が山林が占める典型的な中山間地域です。観光面では本市と同様に鍾乳洞が大きな観光資源となっており、また豊かな自然を活かした観光資源が豊富で観光事業の現状と今後の課題について調査研究。

球磨村役場 熊本県球磨郡球磨村渡丙1730

概要 ○人口:2,786人(R5.12.31現在)

○65歳以上の割合:49.6%

○面積:207.58km²

○主な産業:林業、観光、農業

説明者 復興推進課 課長 友尻 陽介 係長 松野 翔吾

調査実施報告 【球磨村観光振興の現状と今後の課題】

1. 球磨村は、熊本県の南部に位置し、日本三大急流「球磨川」の中流域で、球磨川が魅せる風光明媚な景観と九州最大の鍾乳洞「球泉洞」、さらには日本の棚田百選「松谷棚田」や一勝地温泉の魅力を備えている。
2. これまでの観光振興として、鍾乳洞観光・ラフティング体験・田舎体験・温泉など、令和2年7月に起きた豪雨災害以降は災害学習・環境学習を盛り込んで取り組んでいる。災害学習では「語り部活動」による講話や環境教育では「脱炭素の取組み」の実施と紹介。
3. 球磨村の観光入込客数は、平成28年度の熊本地震による直接的な被害はなかったが、風評被害の伴う県外からの観光客の減少。
4. 令和元年度からの新型コロナウィルス感染症の拡大による全国的な行動制限等により、令和4年度まで大幅な観光客の減少。
5. 令和2年7月に起きた豪雨災害により、幹線道路や公共施設、住宅、農地、山林の多くが村内全域に亘り被害したことで、観光客の誘客が出来ない状況が続いていた。令和4年4月から球泉洞のリニューアルオープンを皮切りに、徐々に観光客の入込が見られるようになった。
6. 観光入込客数総数では、令和元年145,070人・令和2年42,450人・令和3年31,870人・令和4年60,010人と令和4年より回復している。
7. 令和2年7月に起きた豪雨災害の爪痕は大きく幹線道路やJR線などの復旧工事が遅れて交通のアクセスが課題となっている。

まとめ 本市も東日本大震災を受け、風評被害や新型コロナウイルス感染症の拡大により観光事業のダメージが大きかった。球磨村は令和2年7月に起きた豪雨災害で仮設団地入居者が54戸、53世帯151人がおります。

観光に携わる若い人材不足もあり、今後の経営が大変と感じました。

特に九州地方は観光名所が多く、インバウンド向け観光の需要による、地域おこし協力隊の活用やガイド育成や交通手段など解決すれば、以前のような観光入込が見込めると考えます。

本市もあぶくま洞や入水鍾乳洞や昆虫の聖地ムシムシランドなど、関東方面に積極的に自然豊かな観光資源のPRによって交流人口の増加が見込める。

国内のインバウンド需要も増加しており、以前は買い物ツアーが多くったが近年は地方の豊かな自然・郷土文化に触れる体験ツアーが増えていると聞いています。

そのようなインバウンドツアーの広告宣伝が必要と考えます。

何よりもマスメディアの力を借り、口コミや田村市の応援リピーターを定着させ交流人口・関係人口の増加する予算・補助金の確保が必要。

特に観光は入込客数が評価の基準になりますので、こども向けのイベントを徹底的に思案して、ファミリーの観光客の誘致活動がキーだと考えます。

本当の地球が見られる場所、どきどきわくわくたむらの知名度はどのくらいアップするか、イベント内容に期待したい。

田村市議会議員 改革未来たむら 政務調査実施報告

政務調査議員 佐藤 重実 遠藤 雄一 石井 忠重

政務調査日 令和6年1月12日(金)11:00~12:00

政務調査先 球磨村森林組合

政務調査目的 本市も原発事故前は林業が盛んで、特に都路町のしいたけ原本は全国に流通しており有名でした。球磨村も全体の88%を山林が占めており、林業が盛んで森林事業と担い手問題や将来のビジョンと球泉洞の復興と営業再開の状況と今後の事業対応について調査研究。

球磨村森林組合 熊本県球磨郡球磨村大字神瀬甲1130

概 要 ○設立:昭和30年11月(神瀬村、一勝地村、渡村の隣接する3村が合併)

○組員数:923名(令和4年5月末時点)

○出資金:63,300千円(出資口数:63,300口)

○職員数:77名

○森林經營計画策定面積:8,864ha

説明者 球磨村森林組合 代表理事組合長 部 初美 参事 犬童 大輔

【 調査実施報告 球磨村森林組合 事業と将来ビジョン】

1. 球磨村森林組合では、森林を守り育てる森林整備事業を中心として、球磨村の恵まれた森林から間伐や主伐によって生産された木材を販売する販売事業、山から生産した木材を製材品やチップに加工し、九州一円に出荷している加工販売事業、九州最大級の大鐘乳洞「球泉洞」の運営を中心とした森林観光事業という4つの柱で組合経営。

2. 主力事業は販売事業(素材生産)では、年間約31,500m³の原木を生産し近隣の木材市場や自社の製材加工場へ出荷。

3. 造林を中心とした基礎的事業の森林整備事業は年間約140haの再造林(新植)と550haの下刈作業の実施。

4. 近年はシカによる苗木の食害も急増、年間約7,000mにおよぶ獣害防止ネットの設置。猟友会でも駆除しているが人員不足で増加傾向。

5. 製材加工場では年間約7,000m³のスギのKD材(乾燥材)を生産し、九州一円へ出荷。チップ工場では、山から切り出した木材から、製紙用のパルプチップを生産し新日本製紙・中越パルプへ出荷。

6. 森林観光事業では、九州最大級の大鐘乳洞「球泉洞」の管理運営。地元の食材を堪能できる食事処「幸盛亭」、地元の特産品を取り扱うアンテナショップ経営と多岐にわたっている。モンベルと共同開発商品も販売。

7. 担い手不足は、移住定住者を募集して女性専用班を作り活動中。

8. 林道整備は600kmと充実しており搬出作業の効率化を図っている。

まとめ 全国的に林業の衰退が聞かれますが、球磨村森林組合の事業説明では明るい話題が多く活動が素晴らしいと感じた。

球磨村の88%が山林で豊かな自然環境で、育林伐採が行われており水源林造成事業として水源涵養機能・生物多様性保全機能・土壤保全・土砂災害防止機能・地球環境保全機能が考えられ、森林事業の重要性がわかります。

事業を実施する際は、多くの補助金を活用しております。そのため、国・県・村などの公的機関と綿密な連携を図りながら組合員のためいろいろな事業を実施。主な補助金の内訳、森林整備として・森林環境保全整備事業補助金:232,000千円・熊本県次世代につなぐ森林づくり事業補助金:60,535千円・熊本県シカ森林被害防止事業補助金:415千円・くまもと間伐材利活用推進事業補助金:4,900千円・球磨村森林環境整備補助金:10,133千円（令和3年度実績）などの補助金を有効活用。現実的なところ補助金がないと厳しいと認識した。

適正に森林を管理するため、森林のサイクルに合わせた施業を、植栽した木の成長に合わせ適正な時期に実施、木は植えてから伐採され建築用材や家具などに利用されるまで、50年～100年かかると言われます。

本市もふくしま森林再生事業を活用して森林整備を実施しており、将来に向けた森林のもつ環境保全機能が期待されております。

林業の重要性を市民が理解し、担い手不足解消に努めることが大切と考えます。